



## 2022年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月9日

上場会社名 サンデン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6444 URL https://www.sanden.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) ジュウ ダン  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営財務管理本部長 (氏名) 高橋 純也 (TEL) 03-5828-5582  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年12月期第3四半期の連結業績(2022年1月1日~2022年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	127,991	—	△5,507	—	△2,897	—	△2,498	—
2021年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2022年12月期第3四半期 △497百万円(—%) 2021年12月期第3四半期 ー百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	△22.42	—
2021年12月期第3四半期	—	—

(注) 当社は、2021年6月25日開催の第95期定時株主総会における定款一部変更の決議により、決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、決算期変更の経過期間である前連結会計年度は第3四半期連結財務諸表を作成していないため、2021年12月期第3四半期の連結経営成績(累計)および2022年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年12月期第3四半期	160,626	23,321	13.9	200.29
2021年12月期	151,189	23,835	15.1	205.51

(参考) 自己資本 2022年12月期第3四半期 22,322百万円 2021年12月期 22,901百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年12月期	—	0.00	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日~2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	161,000	—	△5,000	—	△3,500	—	△3,700	—	△33.20

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 前連結会計年度は決算期変更の経過期間となり、通期については、当社および3月決算であった連結子会社は9か月(2021年4月1日~2021年12月31日)、12月決算の連結子会社は12か月(2021年1月1日~2021年12月31日)を連結対象期間とした変則決算となっております。このため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) サンデン・オートモーティブコンポーネント株式会社

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年12月期3Q	111,693,313株	2021年12月期	111,693,313株
② 期末自己株式数	2022年12月期3Q	242,449株	2021年12月期	259,558株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年12月期3Q	111,443,121株	2021年12月期3Q	一株

(注) 当社は、2021年6月25日開催の第95期定時株主総会における定款一部変更の決議により、決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、決算期変更の経過期間である前連結会計年度は第3四半期連結財務諸表を作成していないため、2021年12月期第3四半期の期中平均株式数 (四半期累計) については記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは「自動車用コンプレッサーと統合熱マネジメントシステムのグローバルリーダーになる」というビジョンに基づき、大きな転換期を迎えている自動車業界において、競争力の源泉である電動車両向けの「最先端技術のソリューション」、成長市場である「中国と欧州でのプレゼンス」、そして「幅広い顧客基盤」等の更なる強化を通じ、顧客の環境志向を的確に捉えた製品・サービスの提供を進めております。

また、当社は、2021年12月期より決算・管理体制の強化・効率化を図ることを目的として、ハイセンスグループにおける決算期に当社の決算期を合わせるため、決算期の変更（以下「本決算期変更」といいます。）を行うこととしました。本決算期変更により、当社の事業年度は、1月1日から12月31日までの1年となります。経過期間となる前連結会計年度は、2021年4月1日から2021年12月31日までの9か月決算となり、第3四半期連結財務諸表を作成していないため、対前年同期比については記載していません。

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の拡大に伴う経済活動の制限緩和が見られた一方で、長期化するウクライナ情勢の影響、世界的な原材料価格の高騰および半導体など一部の部品供給不足や物流の需給逼迫は継続しており、依然として世界経済の先行きは不透明な状況にあります。

当社グループにおいては、主力の欧州地域ではウクライナ情勢や半導体不足による自動車生産台数は前年同期と比較して減少する等の影響がありましたが、日本、アジア、中国、アメリカの各地域の販売は回復基調にあり、当第3四半期連結累計期間の売上高は、127,991百万円となりました。営業損失については、販売の回復に伴う操業度向上により収益性は改善に向かっているものの、原材料の高騰や部品の供給遅れに伴う物流費用の増加等が続いており、5,507百万円となりました。経常損失は外貨建債権債務から生じた為替差益、持分法による投資利益等により改善し、2,897百万円となりました。これらの結果により、親会社株主に帰属する四半期純損失は2,498百万円となりました。

なお、当社グループの報告セグメントは「自動車機器事業」のみであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、売上債権、棚卸資産、有形固定資産および投資その他の資産の増加を主因に、前連結会計年度末に比べて9,437百万円増加し、160,626百万円となりました。

負債については、仕入債務および短期借入金の増加を主因に、前連結会計年度末に比べて9,951百万円増加し、137,305百万円となりました。

純資産については、為替換算調整勘定の増加の一方、利益剰余金の減少により、前連結会計年度末に比べて514百万円減少し、23,321百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月期の連結業績予想につきましては、2022年2月25日公表の連結業績予想から変更はありません。

なお、ロシア・ウクライナ情勢による当社グループへの影響は、顧客の一部生産減少やエネルギーコスト高騰等で顕在化しておりますが、それらに対応するための活動を進めており、業績に与える影響は軽微と捉えております。今後、業績に大きな影響が見込まれる場合は、速やかにお知らせします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,542	16,104
受取手形、売掛金及び契約資産	42,414	51,210
商品及び製品	14,004	16,558
仕掛品	7,121	9,191
原材料	9,508	9,737
その他の棚卸資産	1,575	1,841
未収入金	3,347	3,857
未収消費税等	2,340	3,510
その他	7,826	6,360
貸倒引当金	△17,479	△19,319
流動資産合計	98,200	99,054
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,014	14,465
機械装置及び運搬具（純額）	5,825	7,842
工具、器具及び備品（純額）	1,877	2,549
土地	6,439	6,625
リース資産（純額）	2,064	2,063
建設仮勘定	3,635	3,802
有形固定資産合計	33,856	37,349
無形固定資産		
その他	688	1,334
無形固定資産合計	688	1,334
投資その他の資産		
投資有価証券	17,004	21,610
退職給付に係る資産	130	130
繰延税金資産	206	194
その他	2,339	2,232
貸倒引当金	△1,238	△1,279
投資その他の資産合計	18,442	22,888
固定資産合計	52,988	61,572
資産合計	151,189	160,626

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,319	35,558
短期借入金	39,366	44,060
1年内返済予定の長期借入金	274	321
未払金	8,444	6,794
リース債務	2,320	1,994
未払法人税等	1,004	1,335
賞与引当金	1,505	1,501
製品保証引当金	4,664	4,987
損害賠償損失引当金	2,428	2,317
構造改革引当金	14,318	13,554
その他	8,729	12,732
流動負債合計	114,375	125,158
固定負債		
長期借入金	584	437
リース債務	6,051	4,917
繰延税金負債	1,586	1,688
退職給付に係る負債	2,646	3,012
環境費用引当金	500	590
その他	1,608	1,501
固定負債合計	12,977	12,146
負債合計	127,353	137,305
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,741	21,741
資本剰余金	14,081	14,081
利益剰余金	△15,151	△17,650
自己株式	△565	△531
株主資本合計	20,105	17,640
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4	△8
為替換算調整勘定	3,084	4,816
退職給付に係る調整累計額	△284	△126
その他の包括利益累計額合計	2,795	4,681
非支配株主持分	934	999
純資産合計	23,835	23,321
負債純資産合計	151,189	160,626

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
売上高	127,991
売上原価	113,317
売上総利益	14,673
販売費及び一般管理費	20,181
営業損失(△)	△5,507
営業外収益	
受取利息	33
受取配当金	21
為替差益	1,216
持分法による投資利益	2,469
受取賃貸料	564
その他	317
営業外収益合計	4,623
営業外費用	
支払利息	758
その他	1,255
営業外費用合計	2,014
経常損失(△)	△2,897
特別利益	
固定資産売却益	43
貸倒引当金戻入額	1,645
構造改革引当金戻入額	491
その他	109
特別利益合計	2,289
特別損失	
減損損失	858
固定資産処分損	94
その他	105
特別損失合計	1,058
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,666
法人税等	891
四半期純損失(△)	△2,558
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△59
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,498

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△2,558
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△4
為替換算調整勘定	△365
退職給付に係る調整額	158
持分法適用会社に対する持分相当額	2,273
その他の包括利益合計	2,061
四半期包括利益	△497
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△612
非支配株主に係る四半期包括利益	115



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当社は、2022年1月1日付で、当社を存続会社、当社の完全子会社であるサンデン・オートモーティブコンポーネント株式会社、サンデン・オートモーティブクライメイトシステム株式会社、サンデン・アドバンステクノロジー株式会社、サンデン・ビジネスアソシエイト株式会社、サンデン・リビングエンバイロメントシステム株式会社、サンデン・エンバイロメントプロダクツ株式会社および株式会社三和を消滅会社とする吸収合併、および、当社を承継会社、当社の完全子会社であるサンデンシステムエンジニアリング株式会社（以下、「SSE」といいます。）を分割会社とした、SSEのグループ会社向け事業の簡易吸収分割による承継を行うとともに、当社の商号をサンデンホールディングス株式会社からサンデン株式会社に変更しております。

なお、当該吸収合併において消滅会社となったサンデン・オートモーティブコンポーネント株式会社は、当社の特定子会社に該当しておりました。

詳細につきましては、2021年9月28日付「完全子会社との合併（吸収合併）及び会社分割（簡易吸収分割）に係る吸収合併契約及び吸収分割契約の締結並びに当社の商号変更及び定款の一部変更に関するお知らせ」をご覧ください。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
税金費用の計算	税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項(法定実効税率を使用する方法)に準じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 当第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

当社グループの報告セグメントは「自動車機器事業」のみであるため、記載を省略しております。